

『季節の宅配便』

自然とともに学ぶ実学教育

奈良育英中学の生徒さん20名が8月2～4日に生石農場で体験実習をされました。
今回の農場便りは、そのときの様子の一部をお伝えします。



朝から元気いっぱいの子供さんたち。
各班に分かれて、いざ農場散策の
はじまり～！

生徒さんたちは、立札を付した見学
通路を農場マップ片手に進んでいき
ます。雄大な自然を五感でとらえて
学ぶ実習を実施しました。



～植物を知る～

途中にはゼンマイ、ワラビ、イタドリ、ササユリ、ヤマウドが見られました。生徒さんたちからの植物についての質問がいっぱい。



～作物のありがたみを感じる～

農場で栽培している赤シソ畑を見学。生徒さんたちには、お百姓さんが作物をつくる大変さや、そのありがたさを学んでもらえました。



～自然の恵みを味わう～

6月に湯浅農場で収穫した梅を材料に、みんなはじめての梅シロップ作り。ログハウス内では梅の香りが漂い、生徒さんたちは楽しそうに味見し、作っていました。



～動物の生命を知る～

牛の授業を通じて動物の生命についてのミニ授業を実施中。みんなまじめに聞いてくれました。



～動物の生命をきく～

牛の心臓の鼓動は1分間におよそ80～100回、ヒトと比べて少し多いんだって～。
心音が聞こえた時、子供たちは驚きの声をあげてました。



～動物の生命にふれる～

アイガモのヒナはとても怖がり。ヒナがびっくりにしないように、みんな優しく丁寧にふれてくれました。